

外部評価に対する自己点検・評価について

研究統括責任者 檜垣 靖樹

2017年度の外部評価（2018年3月実施）において、事業全体の総合所見として概ね順調に進んでいるとの評価であった。2018年5月28日に開催した、第6回研究ブランディング推進会議にて、評価に基づく2018年度の改善点を整理し、実施計画を立案した。統括責任者として、外部評価委員のコメントに基づき実施した内容およびプロジェクト全体の進捗を後押しするために実施した取り組みの代表例を下記にまとめた。

- 1) 地域を巻き込むためにも福奏プロジェクトを広く発表し、「健康取り組み県」として大々的に打ち出したらよいのではないかと。

2018年12月13日～14日、福岡大学中央図書館多目的ホールで開催した第1回国際シンポジウムにおいて、海外招聘シンポジストによる「健康科学の世界標準」と「アジアの小児の健康 現状と課題」の講演、各チームの取り組み事例などの発表を実施した。

また、2019年1月25日（金）、九州大学医学部百年講堂で開催された「平成30年度ふくおか健康づくり県民会議総会（日本健康会議 in 福岡）」において、チーム③が中心に進めている、「スロージョギング®の効用と実践」について紹介した。（福岡県ホームページにて動画を公開中。<https://www.kenko.pref.fukuoka.lg.jp/>）

- 2) 具体的な実行に際しては、ビジネス局面も視野に入れた産学官連携の共同スキーム調整・確立が必要ではないかと。

2019年1月11日（金）、「福岡大学新春産学官技術交流会2019」において、「福奏プロジェクトと歩むCSVへの挑戦」について発表した。今後、各チームと産官が連携し、プロジェクトの成果の社会実装化を図っていききたい。2019年4月より、自治体、金融機関および大学の基盤機関研究所が連携し、地域経済の活性化と健康産業の創出に向けた取り組みを始動する計画を立案している。

- 3) 当該年度の成果や背景事情の変遷を確認し、大学のビジョンに向かうべく、学内実行構図が機能することを期待している。

2018年8月29日～31日、東京ビックサイトで開催された「イノベーション・ジャパン2018 大学見本市」に「福奏プロジェクト」を出展した。提案テーマは「ヘルスツーリズム」、研究シーズは「心音測定器を用いた高精度で簡易な健康づくり支援評価」を紹介し、関係機関との情報交換を行った。

以上